

「広報ふなばし」と「議会だより」の同封配布に関する陳情

[願意]

配布コスト削減、行政と議会との共同企画の特集記事を組むことにより市政への理解度向上、そして
閲読者層の共有による「議会だより」の閲読率向上のために、「広報ふなばし」と「議会だより」の同封
配布を陳情する。

[理由]

1. 広報紙閲読の実態

「広報ふなばし」は、便利で役に立つ行政情報や地域のお知らせが満載されており、市民にとって大変に有効で価値がある。一定期間、保管している家庭も多いと推測する。

一方、「議会だより」は、定例議会の報告のみで、市民にとって将来的には有効であるが、直近での有効情報はなく。残念ながら、必要性は乏しく閲読率も低い。

費用対効果を少しでも改善すべきと考える。

2. 同封配布(独立した広報紙を同時に配布)について

(1) 配布方法は、現状の「広報ふなばし」に一元化する。

- ① 新聞折り込みでお届けする。
- ② 新聞未購読世帯で「広報ふなばし」または「議会だより」の何かの閲読を希望する市民へは、無料で直接家庭のポストに届ける。何れかを希望しても、「広報ふなばし」と「議会だより」をセットで届ける。
- ③ 「議会だより」の配布日は、「広報ふなばし」の2/1号、5/1号、8/1号、11/1号または15日号に合わせる。

(2) ポスティングサービスは業者に委託する。

- ① 新聞同様に雨天予報時はビニール包装されるので、水によって紙が破損することはない。
- ② 委託業者の作業効率のために用紙サイズも同一仕様とする。同時に、紙質も再生紙に変更する。
即ち、「議会だより」の用紙サイズを現行のA4判から「広報ふなばし」と同じ再生紙のタブロイド判に変更する。

3. 同封配布によるメリット

(1) 単純に言えば、配布コストを約半分に抑制出来る。

【更に、「広報ふなばし」と「議会だより」を合冊(一冊にまとめて発行)にすれば発行コストの大幅な削減と閲読率向上が見込める。

因みに、現在、合冊版を発行している都市は静岡市などがある。当然、行政と議会の独立性を確保する工夫は施されている。以上、ご参考まで。】

(2) 同一時期に同一案件を、行政と議会が夫々の立場と視点で特集を組むことにより市民の理解度向上が大きく期待出来る。

(3) 「広報ふなばし」に引っ張られて「議会だより」の閲読率向上が望める。

尚、「議会だより」は現施策として、市内全戸への到達率を 100%としている。

が、発行から到達までのスピードは最長 1 ヶ月も掛かっている。そして閲読率も低い。

議会側は全戸配布することで満足かもしれないが、市民側は迷惑チラシと同じ扱いかも知れない。全戸配布の有効性についてはキチンと検証する必要がある。

まず、QCD の観点で大胆な見直しを図る。次に、DX 化の一丁目一番地であるペーパーレス化を真剣に考えるべきかもしれない。

以上